

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人光洋会	代表者	岩谷 友子	法人・事業所の特徴	「ご利用者が自分らしく生活することを支援します」を運営理念に掲げ、その方らしい活動ができるよう調理や手作業等に取り組んでいただいている。通いと訪問、泊りの組み合わせにより、在宅生活の継続を支援している。地域との交流を目的に保育所や中学校との連携を行っている。
事業所名	城山庵	管理者	清松 美雪		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3	人	2人	人	人	4	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員に向けて小規模外部評価の勉強会を開催し、自己評価について解釈の統一をはかる。	・職員会議において事業内容の確認と評価の判断について周知し、職員の解釈の統一を図り評価を実施した	ミーティング様式での評価はわかりにくいため、具体的に理解しにくい。スタッフの取り組みには一定の評価があった。	具体的内容についてわかりやすく表示方法を工夫する。推進委員に施設の内覧機会を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	状況に応じた感染対策の徹底を行う	様々な感染症の予防をするために、一動作ごとの手洗いや設備の消毒、体温測定を徹底した。	施設内では感染は起こらなかった。	感染対策とともに、来訪者にとって居心地のいい空間を作れているか定期的に評価する。
C. 事業所と地域のかかわり	積極的に地域の方に挨拶する。	地域の方にお会いした際には挨拶できていた。地域の学生や子供たちとのかかわりを再開している。	利用者以外の近隣の高齢者などのかかわりはあまり持っていない。	地域包括との連携を通し地域とかかわりを深める。外出行事を計画し地域と関わる機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域ケア会議や推進会議を通して地域の情報収集を行い、地域の行事やイベントに参加する機会を増やしていく。	コロナ感染症が5類に変更され、地域行事も行われるようになってきたが、今年度は、利用者の状況により参加はできなかった。	運営推進会議で地域行事の開催情報を収集し積極的に参加できるように検討していきたい。	地域の広報誌によりイベントの情報を早い時期に収集し、計画的に参加を企画する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議において事例検討を行い城山庵の取り組みを知っていただく。	事例検討は行なえなかったが、地域行事の時の報告で認知症などの方が増えている現状を知ることができた。	事例検討は行われなかった。	感染対策の観点から書面会議を余儀なくされたが、今後は運営推進会議で定期的に事例検討を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練で防災に対する知識を深める 地域の防災訓練に参加する	定期的な防災訓練、火災だけでなく災害の訓練も行った。地域の防災訓練には参加できなかった。	事業所の訓練や防災計画を知る機会がなかった。	運営推進会議を通し、避難訓練の様子を報告する。訓練予定を運営委員に連絡し参加を計画する。